

## 県立・市民図書館の現状と課題等について

項目	新図書館等複合施設整備基本計画	県立・市民図書館の現状と課題	新図書館での実施を考えているサービス
(1) 来館者等へのサービス	ア 資料情報の提供（貸出し・閲覧・予約）	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) 資料の貸出しや閲覧は、案内、返却・登録・予約、レファレンス対応等を含めて同じカウンターで行っている。このため、利用者を待たせたり、余裕を持った対応ができない場合がある。</p> <p>(2) 予約サービスは、窓口や電話、ホームページ等で受け付けており、年々、増加している（平成26年度個人予約数：県立6,449件、市民本館10,006件）。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>カウンター業務の効率化や司書の利用者への対応力を上げる必要がある。</p>	<p>○閲覧スペース（書庫以外）の最大収蔵冊数：約35万冊。</p> <p>○一般成人向けの図書の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般書や専門書等、年間出版点数のうち蔵書とするものの割合を5割以上まで順次引き上げていくことを目指す。</li> </ul> <p>○雑誌・新聞：雑誌は2,000タイトル以上を目標にして収集、新聞は一般紙とともに業界紙を充実。</p> <p>○貸出し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の目的に応じた資料の貸出しのため、一般向けの図書コーナー、児童コーナー、課題解決型図書館スペース、高知県関係資料コーナーなどを設置。</li> </ul> <p>○課題解決や多様な学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なテーマに沿った企画展示の開催</li> <li>・ブックリストやパスファインダー等の作成</li> </ul> <p>(注1) ブックリスト：あるテーマに関する資料の情報をリストにまとめたもの</p> <p>(注2) パスファインダー：あるテーマに関する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの</p>
	イ レファレンス・サービス（調査・研究の支援）	<p>(1) 専用窓口等を設けて司書を配置し、サービスの提供体制を強化する。</p> <p>(2) インターネットを活用したレファレンス・サービスを行う。</p> <p>(注) レファレンス・サービス：利用者の問い合わせに図書館資料(本や雑誌、新聞、データベース等)を案内したり、図書館資料に基づいて回答するサービス。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) レファレンス・サービスは、案内、貸出し・返却・登録・予約対応等を含めて同じカウンターで行っている。このため、利用者を待たせたり、余裕を持った対応ができない場合がある（平成26年度レファレンス件数：県立13,117件、市民本館10,706件）。</p> <p>(2) 経験の浅い司書が多く、対応に時間を要したり、応援を求める場合がある。</p> <p>(3) レファレンスは、所蔵調査が多く、調査の代行等を求められることもある。</p> <p>(4) インターネットによるレファレンス・サービスは、利用者が少ない。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 司書のレファレンス能力の向上が必要である。</p> <p>(2) 利用促進や、適切に利用されるためのPRが必要である。</p>
(3) 蓄積・保存拠点としてのサービス	イ デジタル資料の作製・蓄積・提供	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) 高知県関係資料（郷土資料）の一部をデジタル化し、作成したデータの一部は館内閲覧等により提供しているが、ウェブ・サイトでは公開していない。</p> <p>(2) デジタル化の詳細については、現在検討中である。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>デジタル化やウェブ・サイトでの公開に向けた仕組みを構築するためには、多額の経費を要すること、職員には専門的な知識・技術や労力が求められることから、こうしたことへの対応が課題となっている。</p>	<p>高知県関係資料（郷土資料）のうち可能なものは、原本の保護や利用者の利便性の向上、調査研究の促進、貴重書の公開展示のためデジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。</p> <p><b>【デジタル化の優先順位】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当館にしか所蔵のない1点ものを優先</li> <li>・資料的価値の高いもの</li> <li>・利用頻度の高いものなど</li> </ul>
	ウ 電子書籍閲覧・貸出しサービス	先進事例や標準化の動向を見極めて対応する。	<p><b>【現状】</b></p> <p>電子書籍には、次のようなメリット、デメリットがあり、導入していない。</p> <p>(1) 電子書籍のメリットとして、次のことが挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 図書館の開館時間外にも利用できる。</li> <li>イ 図書館から遠い方の利用機会が増える。</li> <li>ウ 文字の拡大ができる。</li> </ul> <p>(2) 音声読み上げなど、障害者のアクセシビリティの向上が期待されるが、現状は、対応しているものの点数が少ない。</p> <p>(3) 電子書籍の価格は、紙の書籍の数倍から数十倍と高価である。</p> <p>(4) 電子書籍のタイトル数は、図書館で提供するためには、未だに貧弱である。</p> <p>(5) フォーマットについては、世界標準のEPUB3に統一の方向となっているが、提供事業者は複数あり、検討を要する。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>フォーマットの標準化や電子書籍のタイトル数等の動向を見極めて対応する必要がある。</p>

県立・市民図書館の現状と課題等

項目	新図書館等複合施設整備基本計画	県立・市民図書館の現状と課題	新図書館での実施を考えているサービス
(4) 課題解決支援サービス	<p>ア ビジネス・農業・産業支援サービス</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) 県立では、ビジネス支援業務担当を2名（兼任）、市民ではビジネス・農業・産業支援サービス担当2名（兼任）を配置している。</p> <p>(2) 県立では、閲覧室内にジョブコーナーを設け、就職・起業・資格取得等に役立つ図書や雑誌、新聞、データベースを提供している。また、市民では本館2階成人室出入口に農業コーナーを設け、就農・営農・栽培等に役立つ図書や雑誌、新聞を提供している。</p> <p>(3) 県立では、ビジネス・農業・法律・新聞記事に関する6種類のデータベースを導入しているが、利用が少ない。</p> <p>(4) ビジネス・産業に関するレファレンスが、少ない。</p> <p>(5) ビジネスや農業、観光分野の関係機関等と連携して、パンフレットなどを置いている。また、新しい連携先の確保のため、関係機関を訪問している。なお、県立では「若者進路相談会」の開催協力やビジネス研修において図書館の活用方法についての講義を行っている。</p> <p>(6) 就業に資する資料・情報は、ジョブコーナーにパンフレットなどと併せて提供している。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) レファレンスは、利用促進のためにPRが必要である。</p> <p>(2) 現状では、連携先が少なく、各機関等との関係もパンフレットの提供を受ける程度にとどまっている。新規の連携先を開拓し、相互利用に向けた協議内容や把握したニーズなどを新図書館の運営に反映する必要がある。</p> <p>(3) ビジネス支援サービスを軌道にのせるためには、産業分野の知識の蓄積や関係機関とのネットワークの構築が必要である。</p> <p>(4) データベースは、利用促進のためにPRを行う必要がある。また、利用者ニーズへの対応や職員の操作技術の習熟等のため、新図書館の開館までに段階的に導入する必要がある。</p>	<p>県民・市民のくらしや仕事に役立つ資料を提供し、ビジネス・農業・産業に関する課題解決を支援するため、ビジネス・農業・産業支援サービススペースと専用カウンターを3階に設置し、約6万冊から7万冊の資料を置きます。</p> <p>専用カウンターには、ビジネス支援サービス担当職員を配置し、資料・情報の提供やレファレンス・サービス、相談内容に応じた関係機関の紹介等を行います。</p> <p><b>【資料・情報の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス・農業・産業支援に関する情報</li> <li>・就業やキャリアアップに関する資格に関する情報</li> <li>・職業訓練等に関する情報の提供</li> <li>・求人情報・職業相談等に関する情報</li> <li>・職場の安全衛生や問題解決に関する情報等</li> </ul> <p><b>ア 資料の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス・農業・産業支援サービス関連資料の収集</li> <li>・関係機関等からのリクエストによる資料の収集</li> <li>・関係機関等のパンフレットやリーフレットなどの収集</li> </ul> <p><b>イ データベース等の整備と情報リテラシー向上プログラムの実施</b></p> <p>データベースをはじめとする電子媒体を整備します。利用者が、電子媒体と図書・雑誌等の紙媒体との総合的な活用を図れるように、情報リテラシー向上のプログラムを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○データベース等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス・農業・産業や法律、健康・医療、新聞記事等に関するデータベースの整備（利用は無料、印刷は有料）</li> <li>・インターネットの閲覧・接続ができる館内環境の整備（利用は無料）</li> </ul> </li> <li>○情報リテラシー向上プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネス・農業・産業支援サービス活用講座」や「データベース活用講座」等の開催</li> </ul> </li> </ul> <p><b>ウ レファレンス・サービスの実施</b></p> <p>ビジネス支援事業担当職員によるレファレンス・サービスを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブ情報や国立国会図書館レファレンス協同データベース、各種データベースなどの活用</li> <li>・ブックリストやパスファインダーによる調査・研究等の支援</li> <li>・相談内容に応じた関係機関の紹介（レフェラル・サービス）</li> </ul> <p><b>エ 関係機関との連携・協力した取組</b></p> <p>関係機関と連携・協力し、相互に利用を促進します。特に、人材育成に関しては、図書館の豊富な情報資源の利用促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内での関係機関のポスターの掲示、パンフレットやリーフレット等の配布</li> <li>・研修室や集会室等を活用したビジネス講座や各種相談会等の開催</li> <li>・関係機関の取組と関連図書を紹介する企画展示の開催</li> <li>・関係機関の講演会等に図書館職員が出向むく出前図書館の実施 ほか</li> </ul>

県立・市民図書館の現状と課題等

項目	新図書館等複合施設整備基本計画	県立・市民図書館の現状と課題	新図書館での実施を考えているサービス
<p>(4) 課題解決支援サービス</p>	<p>イ 健康・安心情報サービス</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) 県立では、健康・安心情報業務担当を3名（兼任）配置している。市民では、健康（医療）情報業務担当2名（兼任）、防災・防犯情報業務担当2名（兼任）を配置している。</p> <p>(2) 県立では、閲覧室に医療・健康情報コーナー、安心情報コーナー（消費生活・防犯関係等）、防災安全コーナー（消防・防災・震災等）を設け、関連する資料を置くとともに、関係機関等と連携してパンフレットの提供等を行っている。市民では、本館2階成人室出入口付近に地震コーナーを設け、関連する資料を置くとともに関係機関等と連携してパンフレットの提供等を行っている。</p> <p>(3) 医療・健康情報に関するデータベースは導入していない。</p> <p>(4) 県立の医療・健康情報コーナーでは、患者・看護者・介護者等が正確な知識・情報を得られるように、健康文庫、闘病記、看護の記録の部門を設け、資料やブックリスト、パンフレットなどを提供している。</p> <p>(5) 県立の防災安全コーナー（消防・防災・震災等）では、県民や防災関係者に必要な資料・情報を提供している。</p> <p>(6) 県立の安心情報コーナー（消費生活・防犯関係等）では、防犯・危機管理に関する資料・情報を提供している。</p> <p>(7) 市民では、ガン征圧月間や防災の日に合わせて、関係機関等の協力を得て、館内での企画展示を実施している。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>状況は、ビジネス・農業・産業支援サービスと同様である。</p>	<p>県民・市民のくらしや仕事に役立つ資料を提供し、健康・安心に関する課題解決を支援するため、健康・安心情報サービススペースと専用カウンターを3階に設置し、約6万冊から7万冊の資料を置きます。</p> <p>専用カウンターには、健康・安心（防災）情報サービス担当職員を配置し、資料・情報の提供やレファレンス・サービス、相談内容に応じた関係機関の紹介等を行います。</p> <p><b>【資料・情報の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康情報サービス             <ul style="list-style-type: none"> <li>健康・医療、看護・介護等に関する情報等</li> </ul> </li> <li>安心情報サービス             <ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康、自殺予防、消費生活、DV・女性の相談等福祉、NPO、災害、防犯、行政相談高齢者、障害者、子供・青少年、ひとり親世帯に関する情報等</li> </ul> </li> </ul> <p><b>ア 資料の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康・安心情報サービス関連資料の収集</li> <li>関係機関等からのリクエストによる資料の収集</li> <li>関係機関等のパンフレットやリーフレットなどの収集</li> </ul> <p><b>イ データベース等の整備と情報リテラシー向上プログラムの実施</b></p> <p>データベースをはじめとする電子媒体を整備します。利用者が、電子媒体と図書・雑誌等の紙媒体との総合的な活用を図れるように、情報リテラシー向上のプログラムを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○データベース等の整備（再掲）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス・農業・産業や法律、健康・医療、新聞記事等に関するデータベースの整備（利用は無料、印刷は有料）</li> <li>・インターネットの閲覧・接続ができる館内環境の整備（利用は無料）</li> </ul> </li> <li>○情報リテラシー向上プログラムの実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・安心（防災）情報サービス活用講座」や「データベース活用講座」等の開催</li> </ul> </li> </ul> <p><b>ウ レファレンス・サービスの実施</b></p> <p>健康・安心（防災）情報サービス担当職員によるレファレンス・サービスを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブ情報や国立国会図書館レファレンス協同データベース、各種データベースなどの活用</li> <li>・ブックリストやパスファインダーによる調査・研究等の支援</li> <li>・相談内容に応じた関係機関・団体の紹介（レフェラル・サービス）</li> </ul> <p><b>エ 関係機関と連携・協力した取組</b></p> <p>関係機関と連携・協力し、相互に利用を促進します。特に、人材育成に関しては、図書館の豊富な情報資源の利用促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内での関係機関のポスターの掲示、パンフレットやリーフレット等の配布</li> <li>・研修室や集会室等を活用した健康づくり講座や各種相談会等の開催</li> <li>・関係機関の取組と関連図書を紹介する企画展示の開催</li> <li>・関係機関の講演会等に図書館職員が出向く出前図書館の実施 ほか</li> </ul> <p><b>オ 法律情報サービスの実施</b></p> <p>課題解決支援サービスと連動して、法令や判例を調べるための資料の紹介や、相続・遺言に関すること、消費者問題など、県民・市民の暮らしに役立つ身近な法律や情報などを、データベースも活用し、関係機関と連携しながら、法律情報サービスを展開します。</p>

県立・市民図書館の現状と課題等

項目		新図書館等複合施設整備基本計画	県立・市民図書館の現状と課題	新図書館での実施を考えているサービス
(5)利用者や対象資料等により区分されるサービス	ウ 高知県関係資料（郷土資料）・情報の収集・保存・提供	図書や雑誌、新聞のほか、パンフレット、地図等を収集・組織化（整理）・保存・提供する。	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) 高知県（郷土）資料コーナーには、貸出し可能な資料を配置しているが、大半の資料は職員が資料を書庫から出して利用者へ提供している。また、郷土に関するレファレンスは、件数が多く、時間のかかるものが多いため、利用者を待たせたり、余裕を持った対応ができない場合がある。</p> <p>(2) 郷土資料の書誌データは自館作成のものが多く、共通の番号がないため、県市間で同一資料の書誌が統一できていないものがある。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) カウンター業務の効率化等の検討が必要である。</p> <p>(2) 県と市の同一資料の書誌の統一が必要である。</p> <p>(3) 郷土資料・行政資料の網羅的収集が必要である。</p>	高知県関係資料は、高知県関係資料コーナーを3階に設置し、図書や雑誌、新聞のほか、行政資料、パンフレット、地図等を収集・組織化（整理）・保存・提供します。 また、高知県ならではのテーマを定めた資料を整備します。
(7)情報リテラシー向上プログラムの実施		<p>(1) 情報リテラシーの向上を図るための講習や支援を行う。</p> <p>(2) 子どもや青少年を対象に、コンピュータ等の情報機器と従来の紙媒体との総合的な活用に資する体験学習・実習を行う。</p> <p>(3) 図書館及び情報資源の効果的な活用方法の相互学習・情報交換の場を設ける。</p> <p>(4) ビジネスや事業の企画に役立つプログラムを実施する。</p> <p>(5) 市町村立図書館・学校図書館等の職員・スタッフ、読書活動支援者を対象としたプログラムを実施する。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>県立では、「子ども」と「ビジネス支援」を対象に情報リテラシー講習を開催している。市民では、実施はしていないが、新図書館開館に向けて担当者2名（兼任）を配置している。</p> <p>(1) 子どもを対象に、クイズ形式による図書館の利用や資料の検索方法を学ぶ夏休みイベント「図書館アドベンチャー」を行っている。</p> <p>(2) 外部団体が実施しているビジネス研修において、図書館の活用方法等についての講義を行っている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 情報リテラシー講習を館内で幅広く実施するには、場所や研修に使用する情報機器（コンピュータ等）の確保等が必要である。</p> <p>(2) 新図書館に向けて、対象者に応じた実施方法・導入時期等の検討が必要である。</p>	<p>情報リテラシーの向上を図るための講習や支援を行います。</p> <p>○小学生及び中学生を対象とした情報リテラシー向上プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校等を対象とした図書館見学の実施（図書館の利用方法の学習を含む）</li> <li>・中学生を対象とした職場体験の実施</li> <li>・小学生が図書館の理解と活用方法を学ぶ「夏休み図書館アドベンチャー」の実施</li> </ul> <p>○青少年や成人を対象とした情報リテラシー向上プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館活用講座」の開催</li> </ul> <p>○ビジネスや事業の企画に役立つプログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネス・農業・産業支援サービス活用講座」や「データベース活用講座」の開催</li> <li>・高知県産官学民連携センターが主催する「土佐まるごとビジネスアカデミー（MBA）」での上記講座の開催等、関係機関と連携したプログラムの実施</li> </ul> <p>○市町村立図書館・学校図書館等の職員等を対象とした情報リテラシー向上プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「司書の体系的研修」や「高知県図書館協会との共催研修」、「市町村立図書館等のニーズに合わせた実地での支援や研修」の中で実施</li> </ul> <p>○読書活動支援者を対象としたプログラムを実施する。</p>
(8)その他		<p>(1) 新しい付加価値を提供する情報サービスを企画・運用する。</p> <p>(2) 図書館サービスの利用促進と読書活動の推進のため、様々なPR活動を行う。</p> <p>(3) 図書等の利用促進、各種の情報提供、人的交流の促進のため、集会、行事、展示等を行う。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>(1) ホームページやブログでの情報発信、「子ども読書だより」の発行、県職員へのメールマガジンなどによりPRを行っている。また、図書の企画展示や出前図書館等により利用促進を図っている。</p> <p>(2) 図書の企画展示や出前図書館等により利用促進を図っている。</p> <p>(3) 県立は、高知城に隣接しており、観光客等への情報提供のため、観光パンフレットの配布を行っている。</p> <p>(4) 施設の狭隘化や連携先の不足等により、利用者への情報提供や展示等の広報活動が十分にできていない。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 図書館における様々なサービスを県民・市民に知ってもらい、図書館に来館してもらうには、連携先を通じての広報と多様な広報活動が必要である。</p> <p>(2) 様々なPRや企画、展示等を行うために職員の能力の向上が必要である。</p>	<p>○新図書館の機能等を活かして、新しい付加価値を提供する情報サービスを企画・運用する。</p> <p>○新図書館における様々なPR活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の事業をフェイスブックやホームページなど、様々な手段で発信</li> <li>・各コーナーの情報を必要としている施設や団体等にパンフレットを持ち込み</li> </ul> <p>○図書等の利用促進や各種の情報提供、人的交流の促進のための集会や行事、展示等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新図書館のホールや集会室、ミーティングルームなどを活用した様々な活動を企画・展示</li> <li>・外部機関の利用も積極的に促進（図書の活用のため、関連書籍の紹介・臨時貸し出しコーナーなどを展開）</li> </ul> <p>○中心市街地活性化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民市民と観光客の両方が楽しみながら学べ、中心市街地活性化に役立てるため、「観光客への総合的な情報提供」、「高知県情報（歴史・観光）の集積・発信」、「貴重資料の展示」、「ビジネス支援における商店街との協働」などを実施する。</li> </ul> <p>○行政支援サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行政課題に対応するため、「行政職員対象のレファレンス」「図書館活用についての情報発信」「行政各部署と連携した資料展示」などを実施する。</li> </ul>